

テーマ 『高齢者肺炎について』

令和5年 6月17日(土)

14時00分～16時00分(開場13時30分)

日時

会場

鳥取県立中央病院 1F 多目的ホール

鳥取市江津730 TEL0857-26-2271

対象

どなたでもご参加いただけます

講演

講演1【高齢者肺炎について】

鳥取県立中央病院 救急集中治療科

医長 橋本 恭史

高齢者にとって肺炎はとても身近な病気です。高齢者に起こる肺炎の多くは誤嚥性肺炎です。肺炎を予防するためには、口腔内を清潔に保ち、定期的にワクチンを接種することが重要です。

講演2【肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)について】

鳥取県立中央病院 薬剤部

薬剤師 田中 玖実

肺炎を引き起こす菌として最も多いのは、肺炎球菌です。この菌による肺炎は、ワクチン接種により予防が可能です。肺炎球菌ワクチンの大切さについてお話しします。

講演3【口腔ケアについて】

鳥取県立中央病院 歯科口腔外科

医長 大淵 幸与

誤嚥性肺炎は高齢者の肺炎でも高い割合を占めます。誤嚥性肺炎と口腔内細菌の関係、口腔内環境を観察する際の注意点や口腔ケアによる誤嚥性肺炎予防についてお話しします。

講演4【食べるリハビリについて】

鳥取県立中央病院 リハビリテーション室 言語聴覚士 松田 章弘

誤嚥性肺炎の原因として筋肉量の減少、嚥下(えんげ)関連筋の衰えがあげられます。自宅で可能な口や喉のトレーニング方法をご紹介します。

入場の際の注意

ご来場の際は必ずマスクをご着用ください

体温が37.5℃以上、または体調がすぐれないなどの場合は入場をお控えください。

